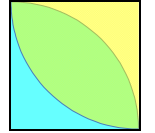


「評価問題や振り返りまで予定通り授業が進まない・・・」といった声をよく耳にします。なぜ？と問うと、「見通しに時間がかかる」「自力解決に時間がかかる」といった課題が浮かんできました。今月は福米西小学校の実践を通して、見通しや自力解決場面での効果的な支援について紹介します。

米子市立福米西小学校 校内授業研究会より

<問題>

図の黄緑色の部分の面積を求めましょう。
また、求め方を説明しましょう。



正方形(1辺 10 cm)

<予想されるつまずき>

- ◇求める図形がどのように構成されているかつかめない。
- ◇扇形の面積を求めることができない。

POINT1 具体物を使った操作活動をする中で、この1時間で何を考えればよいか明確にする。

☆見通す場面で、本時に関わる既習事項を確認する。



問題の図形の中に、これまでに学習したことを使って面積が求められる図形はありますか？

正方形：一辺×一辺

三角形：底辺×高さ÷2

円：半径×半径×3.14



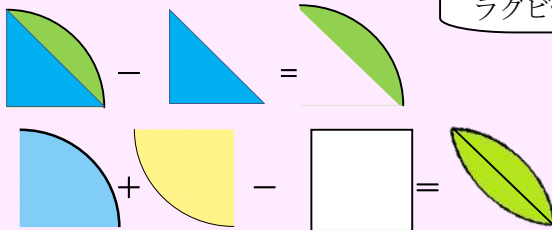
☆問題の図形の中に面積を求めることができる既習の図形がないか問うことで、この時間に何を考えればよいか明確になりました。

ラグビーボール型（黄緑色の部分を子ども達が命名）の面積は、どのように求めればよいか???

☆どのように求めたらよいか考えるために、図形を切り分けたパーツを子どもたちに渡す。

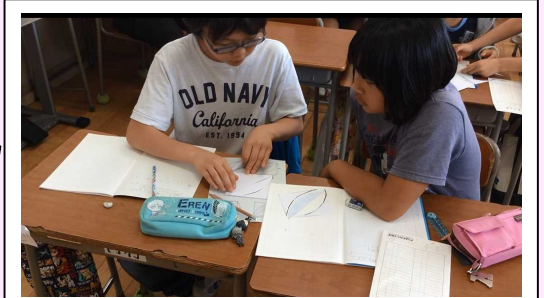
子どもの実態に応じて、○一人一人に渡す ○ペアに1セット渡す ○グループに1セット渡すなどが考えられます。この授業では、ペアに1セットずつ具体物が渡されました。

<子どもたちの反応例>



扇形から三角形をとると、ラグビーボール型の半分だ。

この図形は、扇形が2つ重なってるね。どうすればラグビーボール型の面積を求められるだろう？



☆具体物を使ってペアで考えることで、この時間に何を考えればよいか見通しを持って、自力解決に入ることができました。また、自分とは違う考えもあることに気づき、この活動後、多様に考えることができました。

POINT2 具体的な支援で、つまずきをどのように解消すればよいか考えられるようにし、学び合いの場面につなぐ。

☆具体物を使って扇形の面積の求め方を考えるよう助言する。



この扇形がいくつで円になりますか？



わかった。扇形が4つで円になります。

面積は？



円の面積をどうすればいいの？
あつ、そうか。
4で割ればいいです。

☆この授業では、同じ部分でつまずいている子どもたちを集めて、具体物を使った支援がなされました。子どもたちは「あつ、わかった」と席に戻り、自力解決や話し合いに取り組むことができました。

大切にしたいこと

- ・見通す場面で問題解決に必要な既習事項やこれまでの学習との違いを確認することで、この時間で子ども達が何を考えればよいか明確にする。
- ・つまずきの予想をもとに具体的な支援を準備し、机間指導で子どもを見取り、的確な支援を行う。
- ・自力解決場面ですべてを解決するのではなく、見取ったことをもとにどのようにつまずきを解消すればよいか話し合うことで理解を深める。